

## 今年度の主な事業

- ① ふるさと応援寄付金推進事業
  - ② 防災情報伝達システム整備事業
  - ③ うるま市自主防災組織資機材整備事業 ※
  - ④ 保育施設整備事業
  - ⑤ 待機児童対策特別事業(認可化移行支援事業)
  - ⑥ こども医療費助成事業
  - ⑦ 宮城島コミュニティ防災センター整備事業
  - ⑧ 第2次うるま市男女共同参画行動計画策定事業
  - ⑨ 消費生活センター運営事業
  - ⑩ 小型焼却炉設置事業
  - ⑪ 青年就農給付金事業
  - ⑫ 農水産業振興戦略拠点施設整備事業 ※
  - ⑬ 与那城上原地区農道舗装事業
  - ⑭ うるま市水産業振興計画策定事業
  - ⑮ うるま市就労支援事業 ※
  - ⑯ メディア活用による戦略的観光誘客促進事業 ※
  - ⑰ 住宅リフォーム支援商品券発行事業
  - ⑱ 石川インター周辺広域観光可能性調査事業
  - ⑲ 勝連城跡周辺文化観光拠点整備事業 ※
  - ⑳ 交通基本計画・総合交通戦略策定事業
  - ㉑ 与那城総合公園施設改修事業
  - ㉒ 下原地区スポーツ広場整備事業
  - ㉓ 赤道小学校校舎増改築事業
  - ㉔ 勝連小学校校舎増改築事業
  - ㉕ 宮森小学校校舎増改築事業
  - ㉖ 具志川庭球場改修事業
  - ㉗ コミュニティ・スクール導入等促進事業
  - ㉘ ICTを活用した学習支援・人材育成事業 ※
  - ㉙ 小・中学校教育情報基盤整備事業
  - ㉚ 小学校学力向上対策推進事業 ※
  - ㉛ 中学校学力向上対策推進事業 ※
- ※は沖縄振興特別推進交付金を活用した事業です。

$$\text{市民一人当たり納税額} = \frac{\text{市税}}{\text{人口}} = \mathbf{83,281円}$$

$$\text{市民一人当たり予算額} = \frac{\text{一般会計}}{\text{人口}} = \mathbf{428,507円}$$

差額 = ▲345,226円

市民一人当たりの納税額と予算額の差額34万5,226円は地方交付税や国県の支出金、また市の借金等で賄われています。

予算額の内訳を市民一人あたりで見ると…

(平成29年4月1日現在の人口122,702人で換算)

総務費  
26,041円



民生費 209,620円



土木費 40,990円



公債費  
40,322円



教育費 47,358円



その他 64,175円



## 予算で使われる用語の意味

### 【一般会計と特別会計】

一般会計は福祉や教育、道路・公園や衛生など市の基本的な施策を行うための会計で、特別会計は特定の収入をもって特定の事業を実施するために設けられている会計です。

### 【自主財源と依存財源】

自主財源は、市税やごみ処理手数料など市が自主的に収入できる財源のことで、依存財源は、国や県から交付されたり割り当てられる収入のことで。

### 【市税】

市民税や固定資産税など、市民や市内の事業所などが納めた税金です。

### 【地方交付税】

全国的に一定水準の行政サービスが実施できるよう、歳入の格差を調整するために国から配られるお金です。

### 【国・県支出金】

事業を実施するための特定目的の財源として、国や県から交付される使いみちが決められているお金です。

### 【総務費】

市の全般的な管理事務や交通安全、防犯対策等に要する費用です。

### 【民生費】

高齢者、障害者などの福祉や子育て支援に要する費用です。

### 【土木費】

道路建設や公園の整備、市営住宅の管理などに要する費用です。

### 【教育費】

幼稚園、小中学校をはじめ学校教育や社会教育・文化振興などの教育全般にわたる費用です。

### 【公債費】

地方公共団体が借り入れた市債(長期の借金)の元利償還金及び一時借入金の利子です。

### 【人件費】

職員等に対し勤労の対価、報酬として支払われる費用です。

### 【扶助費】

児童から高齢者まで幅広い市民を対象に国の法令や市の条例などに基き、社会生活を援助するために支出する費用です。

### 【普通建設事業費】

学校や公営住宅、道路などを建設するための費用です。